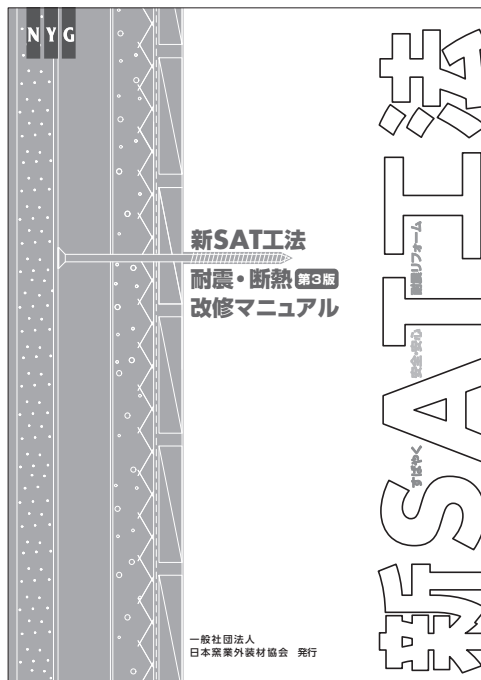


5 モエンサイディングの張り替え工法

5-3 耐震改修の補強方法 参考例

5) 新SAT工法の概要

- 新SAT工法とは、すばやく(S)、安全(A)、耐震改修(T)工法の略称です。
- 本工法は、北海道立北方建築総合研究所の共同研究「断熱改修時における外壁の耐震化工法に関する研究(室蘭工業大学・NPO法人住宅外装テクニカルセンター、平成15～16年)」において基本技術の開発・効果の検証を行い、その後、北海道立北方建築総合研究所における重点研究「北海道の木造住宅の耐震改修促進を目的とした耐震診断・補強効果評価法に関する研究(平成18～20年度)」で実用化が図られ、一般財団法人日本建築防災協会の技術評価を受けた工法を基本とした耐震・断熱改修工法です。
- 施工法の詳細は、「新SAT工法 リフォームマニュアル」(一般社団法人日本窯業外装材協会 発行)をご参照ください。



Q1 新SAT工法ってどんな工法ですか？

「新SAT工法」とは、
すばやく (S)、安全・安心 (A)、耐震改修 (T) 工法の略称です。

この工法は、建物の土台や柱・筋かいの接合部を補強し、既存のモルタル外装（以下「モルタル」という）を利用して耐震性能を向上させるローコストな改修工法です。また、同時に断熱性能を向上させることができます。新しい発想の耐震断熱改修工法で、日本窯業外装材協会 (NYG) 推奨リフォーム工法です。

さらに、新SAT工法は、特別な部品・部材を使わない一般の大工さん・工務店さんが容易に施工できる工法（オープン工法）です。（※所定の講習会の受講が必要です。P22「TV設計・施工者の条件と実施報告」参照）

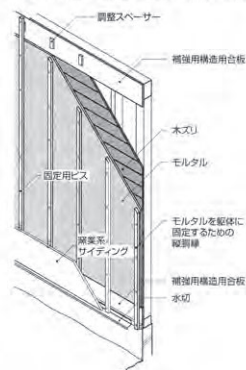
Q2 どのような種類の住宅を対象とした改修工法ですか？

木造在来軸組住宅で、モルタル外壁の住宅を対象とした改修工法です。

モルタルを耐震壁として補強し、耐震改修しながら美しい仕上がりとする事が可能です。

モルタルは全国的に多く施工されています。建設が盛んであった当時は、断熱・気密施工が未成熟であったため、ラスを留めるステーブル等が劣化し、地震のたびに、モルタルのひび割れや剥離・剥落といった被害が報告されています。きちんと施工されたモルタルには相応の強度や耐久性があります。

新SAT工法は、このモルタルの持つ強度を利用して耐震改修を行います。



I 新SAT工法って？